

科目責任者 鈴木 真実哉

■ 教育目的

経済学を専門としない学生諸君であっても、国家試験合格以後の人生においては、経済と無縁でいられるわけではない。そうした学生諸君にとって知っておいて欲しい経済社会の仕組みを基本的なところにしぼって講義する。

また、自然科学にはない思考方法に触れることによって、総合的な考える力が向上することも目的としている。板書と解説が中心で、とくに教科書は使わない。

■ 学習到達目標

1. 人間の経済社会における意味を理解する。
2. 真の繁栄とは何かを理解する。
3. 現代経済社会の大きな特徴の一つである貨幣経済を理解する。
4. 来たるべき新時代の経済を考える。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：テーマに関連した参考文献を示すので講義関連箇所を読んでおく。インターネット検索して基礎知識を得ておく。

復習：板書のノートを確認しておく。次回の講義内容を理解するための予備知識になっていることがほとんどなので、必ず目を通しておくこと。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	序論	経済学の学問的性格と経済学を学ぶ意義	
2～5	経済と人間	・ 経済学における人間 欲望と財 ・ 経済学における人間 財と資源 ・ 経済学における人間 資源と稀少性 ・ 結論（まとめ）	
6～8	価値と繁栄	・ 価値とは何か ・ 繁栄とは何か ・ 結論（まとめ）	
9～12	貨幣	・ 貨幣の発生と発達 ・ 現代の金融システム	
13～15	未来社会と経済	・ 新しい経済社会 ・ まとめ	

■ 授業分担者

No. 1～15 鈴木 真実哉

■ 成績評価方法

授業の出席（10％）と学期末試験（90％）の成績で総合評価する。

■ 教科書

なし